

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	sakura colette		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41 (回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムはチームで考え、内容が固定化しないように豊富なメニューを設け、日々変化させている。特に長期休暇中は屋外活動メニューを増やし、社会経験を積み重ねる機会を提供している。	雪遊び、お花見、フルーツ狩り、プール活動、クリスマス会等の季節行事や、ものづくりやスポーツ等の体験型活動、その他社会科見学等、子ども達が興味を示し、且つ、気軽に参加できるように工夫している。	子ども主体的の活動を考え、取り組めるような機会を増やしていきたい。
2	安心して過ごせる居場所づくり、楽しく通所できる環境づくり。	子ども達の意見や思いを気軽に話せる雰囲気をつくり、状況に応じて保護者や関係機関と連携しながら安心して通所できるよう環境を整えている。 他者との障壁をなくし、互いに笑い合い、居心地の良い環境づくりを目指している。	気軽に話せる職員が特定されるため、職員を選ばず対応できるようにしていきたい。
3	発達段階に応じた個別活動、他者と交流を図るための集団活動がある。	個々のニーズに合わせた日常生活動作訓練、運動機能訓練、創作的活動、余暇活動を日々の活動に取り入れている。また、集団活動による集団生活適応訓練を行い、他者との交流の機会を設けている。	保護者に分かりやすくフィードバックできるツールの活用を検討していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者が参加できる勉強会や、保護者会など交流する機会がない。	共働き家庭が多く、多くの方が保護者会を求めている。 事業所の営業時間の関係および保護者の仕事の都合上、保護者会を開催する場合は夜間となり、時間的に厳しい。	限られた時間の中で気軽に会議等に参加できるように、オンライン会議等も含めて開催できるように検討していきたい。
2	全体的な日々の活動や取り組みの情報発信が不十分	SNSツールはあるものの、上手く活用できていない。 SNSを通じて活動報告を行った際の周知が不十分であるため、全体的な活動等を知らない保護者が存在する。	SNSの活用方法を検討し、全体的に情報が行き届くように情報発信時の周知を強化していきたい。
3	地域交流の機会が少なく、事業所以外との交流が図れていない。	新型コロナウイルス感染症対策により交流を控えてから、そのまま現在に至っている。 地域住民との関わりは近隣に限られている。	活動プログラムに地域交流活動を取り入れ、地域の方々との交流機会を提供していきたい。